

(様式b) 改善計画書

施設名 養護老人ホーム桑名市清風園 (担当者: 稲見)

(作成年月日 平成29年3月31日作成)

| | | | | | | | | |
|-------------------|---|--|---|----|---------|---------|---|-----|
| (施設として続けるに優れている点) | 1 | 施設入所者の満足度の向上のため、生活全般に関するアンケートを定期的実施する。 | | | | | | |
| | 2 | 地域福祉課と連携し、脳の健康教室や学習支援など継続し、新たに地域住民を対象とした事業を検討する。 | | | | | | |
| | 3 | 職員自ら考える力を養えるよう指導する。 | | | | | | |
| | 4 | | | | | | | |
| | 5 | | | | | | | |
| | | 課題・改善点 | 達成目標 | 期間 | 開始時期 | 達成時期 | 改善スケジュール(人・予算・情報)・手順等) | 担当 |
| すぐにできること | 1 | 地域福祉の実践ための貢献 | 生活支援コーディネーター等と地域のニーズについて情報共有し新たな事業を検討する。 | 1年 | 2017年4月 | 2018年3月 | 生活支援コーディネーター等と連携し、地域の福祉ニーズを把握することによって、地域福祉事業を展開できないか検討する。 | 相談員 |
| | 2 | 必要な社会資源を明確にし、連携を適切に行う | 関係機関のリスト化を行う。 | 1年 | 2017年4月 | 2018年3月 | 地域の社会資源、関係機関を洗い出しリスト化する。 | 相談員 |
| | 3 | ボランティア等の受け入れに関する基本姿勢、体制の確立 | ボランティア受け入れに関する内規を整備する。 | 1年 | 2017年4月 | 2018年3月 | ボランティア受け入れについてのマニュアル、規程を作成し、画一的にボランティアの受け入れができる体制を作る。 | 相談員 |
| | 4 | | | | | | | |
| | 5 | | | | | | | |
| 工夫すればできること | 1 | 理念や基本方針の策定 | 施設独自の理念等の策定・明文化の必要性と中長期計画、単年度計画の見直しを検討する。 | 2年 | 2017年4月 | 2019年3月 | 行政、法人、施設の三者において理念等の策定の必要性について検討する。職員会議等で中長期、単年度計画を検討する。 | 全職員 |
| | 2 | 利用者への事業計画の周知 | 入所者への事業計画の周知の必要性について検討し職員間の理解を深める。 | 1年 | 2017年4月 | 2018年3月 | 職員会議等の場において、事業計画の周知の必要性、周知の仕方について職員間で検討する。 | 全職員 |
| | 3 | 運営の透明性を確保するための情報公開 | 施設の収支公開の必要性について検討する。 | 2年 | 2017年4月 | 2019年3月 | 指定管理での受託であるため、収支等の公開が適当かどうか関係機関と検討する。 | 全職員 |
| | 4 | | | | | | | |
| | 5 | | | | | | | |
| 予算化しないとできないこと | 1 | 福祉人材の確保・定着に関する具体的な計画と取り組み | 質の高いサービスを提供するために、法人において適切な採用計画を立てる。 | 2年 | 2017年4月 | 2019年3月 | 法人において、適切な採用計画が立てられるよう働きかける。 | 法人 |
| | 2 | 総合的な人事管理 | 法人において人事考課が導入され、期待される職員像が明確になる。 | 2年 | 2017年4月 | 2019年3月 | 人事考課が導入され、期待される職員像が明確になるよう働きかける。 | 法人 |
| | 3 | | | | | | | |
| | 4 | | | | | | | |
| | 5 | | | | | | | |